



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 伯東株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7433 URL http://www.hakuto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 龍三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 近藤 和浩 TEL 03-3225-3412  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	37,007	40.0	887	248.2	1,071	163.0	853	192.8
29年3月期第1四半期	26,439	△12.5	254	△78.0	407	△66.6	291	△65.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,416百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △1,328百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	39.69	—
29年3月期第1四半期	13.38	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	80,946	52,857	65.3	2,489.12
29年3月期	78,261	52,748	67.4	2,413.21

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 52,857百万円 29年3月期 52,748百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	70,000	28.5	1,400	109.6	1,600	109.2	1,200	134.3	56.14
通期	134,000	5.0	3,200	54.6	3,300	65.9	2,400	26.1	113.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	24,137,213株	29年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,901,948株	29年3月期	2,279,151株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	21,512,936株	29年3月期1Q	21,795,888株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では安定した経済情勢下において慎重なペースで利上げが進行しており、欧州ではBREXITの影響が顕著に現れることなく政治・経済ともに比較的安定しており、アジアでは一部において地政学リスクの懸念が高まっているものの、中国では現政治体制の維持・強化が推し進められており、これら総じて安定的な環境下において世界的に株価堅調、為替安定の状況にあります。我が国では引き続きデフレの環境にあり景況感が高く無いものの、企業業績は比較的堅調を示しており、雇用環境の改善など、緩やかな回復傾向が見られました。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、世界的に社会の情報化が進み、自動運転など自動車の高性能化・電子化の加速、クラウド用データセンター市場の拡大、産業機器のIoT化の進展等の影響により、市場全体の拡大基調が継続しております。

上記背景により、自動車産業向け車載関連製品並びに産業用機械向け製品の需要は底堅く推移しており、データセンター向け投資の伸長が顕著に見られます。

工業薬品関連では、世界的な省資源化の進展により石油精製、紙・パルプ市場の縮小が続いておりますが、石油化学製品の需要は堅調に推移しており、紙・パルプ分野では、通販市場の拡大等による段ボール需要の高まりにより、板紙の生産量が伸長しております。

このような環境下において、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は370億7百万円（前年同期比40.0%増）となりました。

損益面につきましては、当第1四半期連結累計期間は、為替水準が比較的安定していたことにより、外貨建て取引の利益率も堅調に推移したため、連結売上総利益は45億82百万円（同24.8%増）となり、連結販売費及び一般管理費として36億94百万円（同8.1%増）を計上した結果、連結営業利益は8億87百万円（同248.2%増）、連結経常利益は10億71百万円（同163.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億53百万円（同192.8%増）となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

#### [電子部品事業]

電子部品分野では、中国通信インフラ向けの投資に一服感が見られ、また複合機向け製品も顧客在庫の増加により、当社製品の販売は伸び悩みました。

一方で、米国及び中国の自動車販売は踊り場を迎えつつありますが、自動車関連の電子化の流れは継続しており、当社製品の販売は堅調に推移いたしました。また、中国の人件費高騰を受けた工場の省人化が進展しており、産業用機械向け製品の販売も好調でした。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は295億38百万円（同55.0%増）、セグメント利益は4億32百万円（前年同期はセグメント損失2億4百万円）となりました。

#### [電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、国内の分析機器向け真空装置及び海外の液晶パネル向け装置の販売が停滞しており、一部出荷の延伸も見られました。

一方で、次世代スマートフォン向けプリント基板製造装置及びカメラレンズ用蒸着装置、テレビ向け有機ELパネル製造装置の投資は増加しており、関連装置の販売は好調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は50億34百万円（同2.3%増）、セグメント利益は2億6百万円（同11.1%増）となりました。

#### [工業薬品事業]

工業薬品分野では、石油化学分野での底堅い需要を反映し、汚れ防止剤等関連製品の販売は堅調に推移しました。また、化粧品分野においてはOEM及び原料の販売が好調でした。

一方で、石油精製分野及び紙・パルプ分野では世界的な省資源化の影響を受けて需要が減少傾向にあり、販売が伸び悩みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24億31百万円（同1.2%減）、セグメント利益は2億16百万円（同10.3%減）となりました。

#### [その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第1四半期連結累計期間の売上高は1億71百万円（同1.3%減）、セグメント利益は6百万円（同28.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して、26億85百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債権が4億49百万円減少しましたが、商品及び製品が14億58百万円、その他流動資産が9億6百万円増加したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して1億9百万円増加し、528億57百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が5億83百万円増加したためであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは21億21百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは91百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは20億9百万円の支出となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して25百万円増加し、当第1四半期末は77億73百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加15億64百万円等の支出要因がありましたが、仕入債務の増加16億97百万円、税金等調整前四半期純利益11億29百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは21億21百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には売上債権の減少等により48億円の収入となっております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

事業譲渡による収入37百万円等の収入要因がありましたが、有形固定資産の取得による支出1億68百万円、投資有価証券の取得による支出3百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは91百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には事業譲受による支出等により、2億13百万円の支出となっております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金による収入(純)1億79百万円等の収入要因がありましたが、自己株式の増加額8億68百万円、自己株式取得のための金銭の信託の増加額6億19百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは20億9百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、配当金の支払額等により、8億9百万円の支出となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向を踏まえ、平成29年4月28日に公表いたしました平成30年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細は、平成29年7月31日に公表いたしました「第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,748	7,773
受取手形及び売掛金	28,297	28,206
電子記録債権	4,385	3,936
商品及び製品	17,263	18,721
仕掛品	63	47
原材料及び貯蔵品	495	625
繰延税金資産	897	871
その他	1,940	2,847
貸倒引当金	△11	△7
流動資産合計	61,081	63,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	991	985
機械及び装置（純額）	2,173	2,233
土地	3,080	3,080
その他（純額）	518	459
有形固定資産合計	6,764	6,758
無形固定資産	819	713
投資その他の資産		
投資有価証券	9,184	10,017
繰延税金資産	52	51
その他	427	427
貸倒引当金	△68	△45
投資その他の資産合計	9,595	10,450
固定資産合計	17,179	17,922
資産合計	78,261	80,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,291	15,391
電子記録債務	2,266	2,878
短期借入金	2,243	2,323
リース債務	39	18
未払法人税等	212	326
賞与引当金	831	534
製品保証引当金	8	5
その他	1,913	2,905
流動負債合計	21,805	24,384
固定負債		
長期借入金	1,404	1,171
リース債務	6	19
繰延税金負債	1,953	2,114
役員退職慰労引当金	9	10
退職給付に係る負債	317	374
その他	14	14
固定負債合計	3,707	3,704
負債合計	25,513	28,089
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	36,782	37,198
自己株式	△4,040	△4,909
株主資本合計	48,131	47,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,203	4,786
繰延ヘッジ損益	△2	9
為替換算調整勘定	824	768
退職給付に係る調整累計額	△408	△385
その他の包括利益累計額合計	4,616	5,179
純資産合計	52,748	52,857
負債純資産合計	78,261	80,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	26,439	37,007
売上原価	22,768	32,425
売上総利益	3,671	4,582
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,146	1,148
賞与引当金繰入額	324	452
退職給付費用	116	116
その他	1,828	1,977
販売費及び一般管理費合計	3,416	3,694
営業利益	254	887
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	171	185
持分法による投資利益	20	12
その他	18	31
営業外収益合計	212	233
営業外費用		
支払利息	12	9
為替差損	39	26
その他	9	12
営業外費用合計	60	49
経常利益	407	1,071
特別利益		
事業譲渡益	—	29
子会社清算益	—	21
固定資産売却益	0	8
特別利益合計	0	58
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	407	1,129
法人税等	116	275
四半期純利益	291	853
親会社株主に帰属する四半期純利益	291	853



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	291	853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△760	583
繰延ヘッジ損益	35	12
為替換算調整勘定	△917	△55
退職給付に係る調整額	22	22
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△1,620	562
四半期包括利益	△1,328	1,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,328	1,416

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	407	1,129
減価償却費	211	223
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△515	△296
受取利息及び受取配当金	△174	△189
支払利息	12	9
持分法による投資損益 (△は益)	△20	△12
事業譲渡損益 (△は益)	—	△29
子会社清算損益 (△は益)	—	△21
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	△8
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5	14
売上債権の増減額 (△は増加)	4,575	566
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△716	△1,564
仕入債務の増減額 (△は減少)	744	1,697
その他	487	639
小計	5,006	2,158
利息及び配当金の受取額	187	201
利息の支払額	△12	△10
法人税等の支払額	△381	△229
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,800	2,121
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△50	△168
有形固定資産の売却による収入	0	8
無形固定資産の取得による支出	△16	△2
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
事業譲受による支出	△135	—
事業譲渡による収入	—	37
その他	△7	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213	△91
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	9,530	11,000
短期借入金の返済による支出	△9,528	△10,820
リース債務の返済による支出	△12	△6
長期借入金の返済による支出	△401	△280
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は増加)	—	△619
自己株式の増減額 (△は増加)	15	△868
配当金の支払額	△413	△413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△809	△2,009
現金及び現金同等物に係る換算差額	△475	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,300	25
現金及び現金同等物の期首残高	8,366	7,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,667	7,773

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式635,000株の取得を行いました。この取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が868百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が4,909百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間において、順徳晨天電器有限公司は清算終了したことにより、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	19,055	4,919	2,460	174	26,609
セグメント利益	△204	185	241	4	227

当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	29,538	5,034	2,431	171	37,175
セグメント利益	432	206	216	6	861

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	26,609	37,175
セグメント間取引消去	△169	△168
四半期連結財務諸表の売上高	26,439	37,007

(単位：百万円)

利益	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	227	861
のれんの償却額	△4	△2
その他の調整額	31	29
四半期連結財務諸表の営業利益	254	887